

# 日印ダイアログの発足

資本市場のグローバル化の波は、投資対象を評価する尺度である会計基準についてもグローバルに統一することを求めてきました。今日、国際財務報告基準（IFRS）がその地位を得つつある中で、多くの国にとっていかに IFRS を自国の会計基準として導入していくか、また自国の考えを IFRS の整備の過程に反映させていくかが課題となっています。こうした中、アジア地域において近似する環境にある他国と経験や知見を共有し、互いに協力しあうことは、非常に有効なアプローチと考えられます。

特に、インドはアジア地域の中で古くからの資本主義国として、伝統ある洗練された自国の会計基準を有する中で、国際化に向け 2011 年 4 月より段階的に IFRS とコンバージェンスしたインド基準の導入が開始され、2014 年 4 月にはこれを全面的に導入するというロードマップが公表され、現在コンバージェンスの最終調整をされているなど、我が国と非常に似通った状況にあります。

そこで、企業会計基準委員会（ASBJ）も中核メンバーとして参加している IFRS 対応会議では、インドの市場関係者との間で、互いの知識・経験を共有し、アジア地域の声を IFRS に的確に反映させるよう協力しあうことを骨子とした MoU を締結することとし、その内容に沿った第 1 回日印ダイアログが 7 月 26 日に東京で開催されました。

本特集では、日印ダイアログに寄せられる期待を、MoU の締結及び本ダイアログの開催に尽力された IFRS 対応会議国際対応委員会委員長の島崎憲明様からご寄稿していただくとともに、第 1 回日印ダイアログで話し合われた内容、ダイアログの発足を記念して開催した日印フォーラム 2010 の模様などについてご紹介いたします。

## 日印ダイアログの発足に寄せて 15

IFRS 対応会議 国際対応委員会委員長 しまざき のりあき  
 (社)日本経済団体連合会 企業会計部会長 **島崎 憲明**

## インドの会計基準について 21

ASBJ 研究員 せきぐち ともかず  
**関口 智和**

## 第 1 回日印ダイアログの概要 25

ASBJ 専門研究員 しもむら しょうさく  
**下村 昌作**

## 日印フォーラム 2010～IFRS 導入の課題～開催 30

公益財団法人財務会計基準機構（FASB） 事務局長付主管 にしの ゆうじ  
**西野 勇治**